

令和2年 4月 住まいのお手入れ

(1) 洗面所 きれいに保つ掃除術

毎日・週1回 ポイント決めて

*毎日の簡単なお手入れと週1回の掃除を習慣にすると、きれいな洗面所を保ちやすくなります。

*水は乾くとこびりついて水垢になります。

*ふきんは毛羽立ちしない素材がおすすめ。

*落ちた髪の毛は拾います。排水口の詰まりやぬめりの原因になるので、流すのは厳禁。

*光るものを光らせるのがコツ。

*手洗い後に蛇口を消毒。0.05%に薄めた家庭用塩素系漂白剤で拭いた後、水拭き。

*洗剤は浴室用が使えます。

*タオルはこまめに交換、コップや歯ブラシ立ても忘れず洗います。

毎日掃除

鏡	鏡に飛び散った歯磨き粉や水滴はその都度拭き取ります。
水拭き	1日の終わりに蛇口や洗面ボウルをふきんで拭き取ります。乾くと水垢になってしまいます。
排水口の網	小さなブラシでゴミや髪の毛を取り除きます。排水口の網にかかったままだと汚れが溜まり、ぬめりやカビの原因に。

週1回掃除

蛇口の付け根	小さなブラシや竹ぐしを使うと掃除しやく。ゴシゴシこすって傷をつけないように。
洗面ボウルや蛇口	浴室用洗剤をスプレーしてやわらかいスポンジでこすります。よくすすいで、ふきんで水滴を拭き取ります。
掃除をしやすく	歯ブラシやハンドソープなどこまごましたものはトレイにまとめて置きます。そうじするときに移動させやすくなります。

☆排水口からにおいがしたり、みずがながれにくくなったりしたら・・・

水を流してみ
る 排水トラップの水が減っている場合も。水をためれば下水管からの悪臭や害虫が室内に入るのを防げます。

解消しなければ ↓

塩素系パイプクリーナーを使う	クリーナーを排水口に流し入れ、所定の時間をおいて、水で流します。
水抜きキャップを開けて掃除	下に洗面器などを置いて、キャップを開けます。竹ぐしや細い棒でゴミを取り除きます。キャップを戻し、水漏れがないことを確認。

(2020年3月14日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



(2) ホコリ取り除きウイルス対策

壁際・トイレ・寝室 重点清掃

- *家の中に生じた小さなホコリは、くしゃみや咳の原因に。
 - *浮遊したり蓄積したりするうちに不調を引き起こす可能性のある「病原ホコリ」に。
 - 拡散を防ぐため 換気は掃除後に
 - *現代の住宅は高气密で温度や湿度が高くなります。ホコリに付いたダニやカビが増殖しやすい環境です。
 - *ウイルスは感染させる力がある間は粒子の大きいホコリに付き、除去するまで家の中を漂います。
 - *ホコリは気流や湿度、静電気の影響で部屋の一定の場所に集まります。
 - ・たまりやすい場所を特定し、効率的に掃除することはできます。
 - *ホコリが集まる場所として、室内全般に共通するのが壁の高い場所。
 - *高い所から落ちるホコリは壁際から10~15cm ぐらいまでの床にたまりやすくなります。
 - *ホコリがあると大腸菌などの細菌が増えやすいという調査も。
 - *寝室は布団からのホコリが溜まりやすい場所。
- 掃除機や水拭き習慣を見直して

*掃除機はカーペットに押し付けると繊維の奥にホコリが入り込みます。軽く乗せてゆっくり引いて吸引します。

*掃除機は部屋の中心からかけます。隅から始めると人の動きで風が起き、ホコリが再び隅へ集まります。

*濡れた布でホコリが付いた所を拭くと、塗り広げることに。

・水拭きはホコリを取り除いてから。

☆ホコリ取りに使う道具

- ・化学繊維のはたき
- ・使い捨てのドライシートやモップ
- ・マイクロファイバーの乾いたクロス
- ・スクイージー（ゴムの部分に 5mm 間隔で切り込みを入れます）

☆ホコリがたまりやすい場所

壁の高い所

手の届くところはスクイージーで。高い所ははたきや使い捨てのモップシート。

寝室

壁ははたき、床は使い捨てのシートなど。布団はロール状にまくなどそっと扱います。

トイレ

手袋をはめM壁、床の順にスクイージーを使います。床は奥から手前に向かって一方向に引きます。壁沿い、便器沿いは重点的に。

階段

スクイージーを隅にぴったりと当てて、一段一段一方向にゆっくり引きます。上段から下段へ。

エアコンの真下

使い捨てのシートやモップ、クロスなどを使って取り除きます。

壁の下の床

壁側から 10～15cm ぐらいまでの床と部屋の四隅。使い捨てのシートやモップを使います。

（2020年3月21日 日本経済新聞記事より抜粋・引用）





住まいのお手入れ - 床 その6



症状 - ビニル系床が剥がれてきた

(クッションフロアー・塩ビシート)

☆診断の準備

*ビニル系床が10年以上経過しているのであれば、寿命といえるでしょう。

☆対処方法

●経年劣化による場合

*経年劣化でビニル系床材の表面層が収縮し、めくれが生じることがあります。めくれを放置しておくと全体に影響を及ぼし、床組みの腐食によって床が抜ける恐れがあります。

①多少のめくれは、間に溜まったゴミやほこりを除去して、接着剤で補修。

②めくれた床材が硬化していたら、ドライヤーで軽く暖めて柔らかくしてから行いましょう。

③床材が硬化してめくれが戻らないようであれば床材の寿命ですので、張り替えてください。

●水分により、接着が弱くなっている場合

*洗面所・台所・便所や特に浴室の入り口付近は、耐水・防水対策が悪いと水分で接着が弱くなってしまいます。継ぎ目や壁際から水分が入らないよう気を付けましょう。

*多少のめくれは床用接着剤で補修しましょう。

(参考：NPO法人家づくり援護会「わが家の診断&対処法」)

